

令和2年度 第1回市民見学会の実施状況

1. 市民見学会の実施内容

令和2年11月28日（土）9時30分～11時

参加人数 21名

| | |
|--------|---|
| 第1回の目的 | <ul style="list-style-type: none"> ・はばたき公園整備プランなどの取組を説明する。 ・モニタリング等の順応的管理を体験してもらう。 ・はばたき公園の活動への興味や関心を深めてもらう。 |
|--------|---|

2. 市民見学会の様子

- ・今回は『知ってもらう』、『体験してもらう』、『興味や関心を持ってもらう』をコンセプトに、バードウォッチングや水辺にすんでいる虫の観察を体験してもらった。
- ・当日はくもり空ですこし寒かったのですが、参加した皆さまは五感を研ぎ澄まして、双眼鏡などで鳥を探したり、飛び立つ鳥の羽音に耳を澄ますなど、いつもよりもぐっと身近に鳥たちを感じていた。また、水の中で暮らす虫たちに手で触れたり、顕微鏡を使って船のオールのような足を観察したり、水辺に生きる虫たちの生きる工夫に驚いたり、感心していた。



- ・生きものの専門家の先生方からは、このあたりではここでしかみられない生きものたちを紹介してもらい、参加者は都市部にもこのような貴重な場所があることに驚いていた。

専門家の先生から生きものやはばたき公園の役割の説明



3. 令和2年度市民見学会の成果

(1) はばたき公園の順応的管理に対する理解

アンケート（参考資料4-2）より、「湿地をより良くする活動」として、『外来種の駆除』、『水質の管理』、『生きものの調査』を支持する人が多く、今回の市民見学会をとおして、はばたき公園の維持管理に関する課題への理解が深まり、「知ってもらおう」の目標は達成された。

(2) サポートチーム（仮称）形成に向けた人材の発掘

アンケート（参考資料4-2）の「湿地をより良くする活動にかかわってみたいか」という問いには、『当日のスタッフとして手伝いたい』が4名、『企画段階から参加したい』が3名と約半数の方がイベントを手伝っていききたいという、積極的な意見が集まった。また、「イベントを福岡市とともに運営してみたいか」という問いにも半数近くの方から運営してみたいとの回答があり、市民が主体的となるサポートチームの形成に向けた人材発掘といった点でも大きな成果が得られた。